

プレゼンテーション 技法

PRESENTATION SKILLS



プレゼンテーション基礎 —準備—

01 プレゼンテーションとは何か

プレゼンテーションとは、聴き手に知ってもらいたい情報を効果的に伝え、相手に理解してもらうための技術です。

大学での学びにおいて、プレゼンテーションの技術は次のような場面で必要になります。

- ゼミや外書講読など比較的少人数のクラスで、輪読するテキストの割り当てられた箇所について、何が書かれているかについて発表する場合。
- 大学生を対象としたコンペなどにおいて、グループで特定のテーマに取り組んだ内容を発表する場合。
- 卒業論文・卒業研究など、自分で行った実験や研究内容をまとめ、発表する場合。

02 プレゼンテーションの目的

プレゼンテーションの準備をするにあたって、プレゼンテーションの目的をはっきりさせる必要があります。

まず**誰に対するプレゼンテーションなのか**を考える必要があります。プレゼンテーションは自分が伝えたいことを単に言うのではなく、相手に理解してもらうことが重要だからです。授業におけるプレゼンテーションは、基本的に先生に対して行うのではなく、受講している他の学生に対して行うと想定するのが普通です。

次に、**何についてプレゼンテーションをするのか**をはっきりさせます。テキストの輪読であれば、そこに書かれている内容について説明することになりますし、自分の研究発表であれば、

どのような結論が導き出されたのかを発表することになります。

続いて、**どこでプレゼンテーションを行うのか**ということをはっきりさせます。ゼミなど比較的少人数の小教室で行うのか、それとも大教室で行うのか、プレゼンテーション用の機器は備え付けられているのかなどを、あらかじめ確認しておく必要があります。

03 プレゼンテーションで用意すべきもの

プレゼンテーションの目的がはっきりすれば、用意すべきものが決まります。また、発表する場所にプロジェクターやパソコンなどプレゼンテーション機器が備わっていなければ、印刷された配布資料(ハンドアウトあるいはレジュメと言います)を用意します。

法政大学では、ほとんどの教室にプレゼンテーション機器が備えられているので、パソコンを用いてスライドを表示させながらプレゼンテーションを行うのがよいでしょう。手元に配布資料があれば、スライドの内容をメモする必要がなくなり、発表に集中してもらえるという効果も期待できますので、この場合も必ず配布資料を用意しましょう。配布資料はプレゼンテーションを相手に理解してもらうための最低限の資料であり、必ず用意するようにしてください。

発表スライドをプロジェクターで表示させるためのソフトとしては、WindowsであればPowerPoint、MacであればKeynoteが有名ですが、LibreOfficeのImpressなど無料で高機能なソフトもあります。複雑なアニメーション効果が必要でなければ、PDFファイルを用いてプレゼンテーションを行うこともできます。

